



通信

HP 学校だより
R8.2.5
NO.37
文責 伊藤美佳



「あこがれ」6年生

29日（木）に6年生が短なわ大会を行いました。そこで見た6年生の姿は、「あこがれ」そのものでした。

まず、前跳び、後ろ跳び、交差跳びなど基本の跳び方を3分間跳び続け、その跳び方が美しいことに感動です。また、「二重跳び」「はやぶさ」「大車輪」「花火」については、できることが「あこがれ」と言える種目ですが、何十回も跳ぶ姿は圧巻でした。

6年生の姿を見ていると、「継続は力なり」という言葉が浮かびました。1年生からこの時期には「なわとび」をすることが当たり前になっているからこそ、これだけ跳べる6年生となったことが考えられます。個人でもそして集団でも、無心に跳ぶ姿は「あこがれ」ます。これからも、豊坂小学校の冬の風物詩である「なわとび」が継続され、豊坂っ子の自慢の一つとなることを願っています。

次の朝会では、この技を見せてくれるそうです。それを見た他の学年の子たちが、「あこがれ」を感じ、練習をし、次の「あこがれ」の存在となってくれることを期待します。

新1年生体験入学・保護者説明会

1月30日（金）に新1年生体験入学・保護者説明会を実施しました。1年生はこの日のために準備し、新1年生と一緒に「ぴよんぴよんコップ」を作りました。司会進行もしたようで、新1年生にとっては、来年度一緒に活動をするお兄さん、お姉さんと遊べてうれしかったことでしょう。また、1年生も「あこがれ」の姿を見せることができ、とても誇らしげでした。

保護者説明会では、「人は人の中で育つ」というお話をさせていただきました。小学校という小さな社会の中では、自分とは違う考え方、感じ方の人とどう付き合っていくか（多様性）を学ぶ機会が増えます。時には言い争うことがあるかもしれません。手が出てしまうこともあるでしょう。そんな時、大人が解決してしまったり、指示してお互い謝らせたりしてしまいがちです。しかし、大人になっても、そんな場面は多々あります。失敗を繰り返しながらも、解決する術を身に付けていくことが、子どもたちにとって必要な「生きる力」だと考えます。また講師として木村泰子先生にお越しいただきました。先生からは「学校に入ったらみんな学校の子どもたちを育てるサポーターです。困っている子がいたら「どうしたの？何かできることある？」そんな声掛けをし、話をきいてやってください。そうやって、聞いてくれる人がいれば、子どもは学校に来ます」と言っていました。「豊坂っ子は、豊坂学区みんなで育てる」そんな気持ちを保護者、地域、学校で共有し、これからも協力していきたいです。豊坂っ子の笑顔を守るために！

